



## 第58回

### 令和4年度 福井県母子寡婦福祉大会を開催

日 時：令和4年12月4日（日）12時30分

会 場：福井県生活学習館（ユニー・アイふくい）

参加者：約250名

コロナ禍の影響から3年ぶりの開催となった本大会は、県内母子寡婦福祉団体が一堂に会し、ひとり親家庭や寡婦の自立、子供の健全な育成を目指し、社会の理解と支援を得ながら連携を図ることを目的として開催しました。



仲良く明るい家庭で他の模範となっていることや子女が立派に成人し、社会人となって他の模範となっていること、また、母子寡婦福祉に熱心に取り組み、会の事業に献身的に協力してきたことが顕著に認められる会員に対しその功績を称え表彰しました。

#### 優良母子・父子家庭表彰

小 浜 市 河 合 明 美 様

越 前 町 栗 原 志 紀 様

#### 優良寡婦家庭表彰

若狭地区 北 山 さよ子 様

あわら市 吉 川 寧 子 様

来 賓 「福井県副知事 中村保博」様

「福井県議会議長 大森哲男」様

「福井県社会福祉協議会会長

小藤幸男」様

来賓の皆様からは本大会へのご祝辞を賜るとともにコロナ禍の影響から、これまで経験したことのない様々な問題に直面しているひとり親への支援やこれからのひとり親家庭の自立支援に対する取り組みなど心強い励ましの言葉を賜りました。



## シンポジウム

討議テーマ 「すべての子どもに安心と希望を！」「母子と寡婦、共に育む子どもの未来」

コーディネーター 福井市母子寡婦福祉連合会副会長

助言者 加藤まどか様（福井県立大学准教授）

井関真喜子様（福井公共職業安定所 業務次長）

平等智恵様（福井県母子寡婦福祉連合会会長）

シンポジスト 6名

発表者から、「子供の教育費で苦勞したこと」、「離婚から現在の生活を得るまで」「コロナ禍での直面した困難と支援について」「ボランティア団体とのコラボレーションの成果について」「学習支援事業で培った連携のこと」「会員の協力と継続の問題」などが提起され、活発な意見交換が行われるとともに、助言者からは的確な助言をいただきました。



## アトラクション

小浜市の子どもたち約20人がよさこいを踊りました。扇や鳴子をもち一糸乱れぬ演技は、若いエネルギーにあふれていました。

あわら市のあしばら太鼓は、小学生の見事なばちさばきによる快い太鼓の音が会場を沸かせました。どちらも若い子どもたち中心で、会場が華やかになり、元気をたくさんもらうことが出来ました。



小浜市 踊り（よさこい）



あわら市 あしばら太鼓

## 大会宣言



私たちは、令和4年度福井県母子寡婦福祉大会を開催しました。

長引くコロナ禍の影響は大きく、ひとり親家庭及び寡婦の現状の厳しさを改めて認識しました。

母子父子福祉の原点である「わが幸はわが手で」の精神を再認識し、暮らしの安定とすべての子どもたちが将来に希望が持てるよう活動を続けることを宣言します。

- 1 私たちは子供の幸せと生活基盤の安定を図るため、学習支援や子供の居場所づくりなどのあらゆる支援を十分に活用し、自立に向けてさらなる努力をします。
- 1 次世代を担うリーダーの育成並びにひとり親家庭及び寡婦の加入促進を図り、組織の充実に努めます。
- 1 厳しい現実にあっても母子・父子と寡婦が助け合い、子どもやその家族が抱える問題に対応するなど心豊かに活動の輪を広げ、会の発展に努めます。
- 1 一人ひとりの意識の向上と社会参加を目指し、地域と共に将来を担う子供たちの健全な育成に努めます。

令和4年12月4日

令和4年度 福井県母子寡婦福祉大会  
参加者一同